

経済産業省平成27年度補正予算「IoT推進のための新産業モデル創出基盤整備事業」  
 企業保険者等が有する個人の健康・医療情報を活用した行動変容促進事業 採択先一覧

資料3-1

タイプ	代表団体	コンソーシアム名	参加団体・主な協力団体	参加人数 (上段：11月現在実績 下段：予定人数)			概要
				軽症者※1	予備群※2	健常者※3	
大企業	イーウェル	コロポヘルス研究会	分析屋、産業医科大学	105人 (220人)	115人 -	86万人	<ul style="list-style-type: none"> <li>コニカミルタ、オートバックス、PFU、日本生命、オリックスグループ、日産自動車、その他18団体が対象。</li> <li>産業医大・各社産業医と連携し、活動量のみならず生産性損失額比較等の分析を実施。</li> </ul>
大企業	ミナケア	元気ラボを活用した企業保険者による健康医療情報連携	第一生命健康保険組合、テルモ健康保険組合、トッパングループ健康保険組合、LIXIL健康保険組合	29人 (50人)	110人 (100人)	16万人	<ul style="list-style-type: none"> <li>第一生命健保、テルモ健保、トッパングループ健保、LIXIL健保が対象。</li> <li>企業保険者・加入者それぞれが有する健康医療情報をシステムで連携し、包括的なサポートを実現。</li> </ul>
大企業	エス・エム・エス	管理栄養士伴走による健康改善	みずほ情報総研、みずほ銀行	- -	123人 (180人)	7.7万人	<ul style="list-style-type: none"> <li>みずほFGの企業健保(みずほ健保)とエス・エム・エスが対象。</li> <li>対象者の健康状態を本人と医師・管理栄養士等が簡易に把握し、管理栄養士がアプリやPCを通じ、「日々一緒に食事・運動の両面でサポート」する伴走型サービスを提供。</li> </ul>
大企業	野村総合研究所	丸の内発健康街づくり連合会	三菱地所、日本駐車場開発、日本人間ドック健診協会、生命科学インスティテュート、カルナヘルスサポート	57人 (60人)	4人 -	9.8万人	<ul style="list-style-type: none"> <li>丸の内周辺企業（三菱化学、東京海上日動、野村証券、朝日新聞、三菱地所、朝日生命）が対象。</li> <li>ウェアラブル機器等を活用しモニタリング・アラート機能を用いた重症化予防に向けたプログラムを地域ぐるみで実施。</li> </ul>
中小企業	淳風会	健康な企業づくり	両備ホールディングス、全国健康保険協会岡山支部、凸版印刷、タニタヘルスリンク	85人 (100人)	39人 -	8400人 (協会けんぽ岡山支部：39.5万人)	<ul style="list-style-type: none"> <li>バスやタクシーの乗務員を含む両備HDが対象。協会けんぽと連携。</li> <li>生活習慣病療養計画書等を活用して対象者の指導・プログラムを作成するとともに、法人向け管理機能を用いたモニタリング機能を提供。</li> </ul>
地域	エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所	IoTを活用した埼玉県糖尿病重症化予防継続支援	NTTデータ、日本医師会、埼玉県医師会、埼玉県	48人 (100人)	- -	(参加4市国保：約48万人)	<ul style="list-style-type: none"> <li>埼玉県内自治体（上尾市、所沢市、さいたま市、狭山市）が対象。</li> <li>県、市町村、かかりつけ医と連携した、IoTプログラムを提供。</li> </ul>
地域・大企業	愛知県健康づくり振興事業団	チーム「七福神」	聖隷福祉事業団、名古屋大学、日本オラクル、アビームコンサルティング、メディカルデータビジョン、オムロンヘルスケア	168人 (200人)	- -	9.3万人	<ul style="list-style-type: none"> <li>23医療機関、2健診・保健指導機関と連携し、勉強会を開催するなどノウハウを共有しながら事業を実施。</li> <li>「七福神アプリ」を介して応援メッセージ、注意喚起を配信。蓄積データを用いた機械学習の分析・検討。</li> </ul>
大企業・地域	名古屋大学	健康ナビゲータ	トヨタ自動車、エヌ・エイ・シー、日本システムウェア、WOWOWコミュニケーションズ、豊田市役所	150人 (130人)	- -	34万人	<ul style="list-style-type: none"> <li>トヨタ自動車の本社等従業員、及びかかりつけ医患者が対象。</li> <li>健康ナビゲータによるデータの見える化、バーチャルスタッフ（定期的なアドバイス送信）、コールセンターからの保健師による状況確認、産業医による対面の健康指導を提供。</li> </ul>
合計				642人 (860人)	391人 (280人)	約164万人 ※協会けんぽ、国保除く	※1:糖尿病診断指標(HbA1c) 6.5以上、投薬等対象者含む ※2:糖尿病診断指標(HbA1c) 5.6以上6.5未満、投薬等対象者含む ※3:各企業従業員数 (=被扶養者を除く健保加入者)

# 各コンソーシアムの実証実施状況 (2016/12/7現在)

凡例：対象者の決定・準備 → 介入群人数 対照群人数  
 対象者への介入 → (○人 / ○人)

コンソーシアム名	代表団体	目標対象数 (⇒現在の見込)	平成28年						平成29年		
			7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
コラボヘルス研究会	イーウェル	<糖尿病モデル> 220名(介入110名、対照110名)⇒105名 <健康改善モデル> 0名⇒115名		→	→	→	→	→ 第一陣(9/9) (糖尿病)	→	→ 第二陣(27/29) (糖尿病)	→ 第三陣(15/16) (糖尿病) (58/57) (健康改善)
元気ラボを活用した企業保険者による健康医療情報連携	ミナケア	<糖尿病モデル> 50名(介入25名)⇒29名 <健康改善モデル> 100名(介入50名)⇒110名		→	→	→	→	→ 9月下旬～ 実証開始	→	→	→ 第一生命(14/13) LIXIL(32/32) テルモ(5/4) トッパン(20/19)
管理栄養士伴走による健康改善	エス・エム・エス	<健康改善モデル> 180名(介入80名、対照100名)⇒123名		→	→	→	→	→ 8/29～ 実証開始	→	→	→ 第一陣(55/40) 第二陣(17/11)
健康な企業づくり	淳風会	<糖尿病モデル> 100名(介入50名、対照50名)⇒糖尿病モデル85名、健康改善モデル39名		→	→	→	→	→ 参加者条件変更	→ 8/30～ 9/20 実証開始	→	→ 第一陣(48/41) 第二陣(19/16)
丸の内発健康街づくり連合会	野村総合研究所	<糖尿病モデル> 60名(介入30名、対照30名)⇒57名 <健康改善モデル> 0名⇒4名		→	→	→	→	→ 10/1～ 実証開始	→	→	→ 第一陣 (12/13) 第二陣 (18/18)
IoTを活用した埼玉県糖尿病重症化予防継続支援	エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所	<糖尿病モデル> 100名(介入50名、対照50名)⇒48名		→	→	→	→	→ 10/14～10/26 実証開始	→	→	→ 第一陣 (4/0) 第二陣 (44/0)
チーム「七福神」	愛知県健康づくり振興事業団	<健診・保健指導機関モデル> 100名(介入50名、対照50名) <医療機関モデル> 100名(介入50名、対照50名) ⇒168名		→	→	→	→	→ 説明会／実証開始 (健康プラザ・聖隷健診センター)	→	→	→ 第一陣(50/50) 第二陣(34/27) 第三陣 (延長) 産業医モデル(52/0)
健康ナビゲータ	名古屋大学	<糖尿病モデル> 130名(介入80名、対照50名)⇒150名		→	→	→	→	→ 説明会開催／実証開始 (かかりつけ医)	→	→	→ かかりつけ医モデル (48/50)